

運営推進会議実施報告書

令和 8 年 6 月 29 日

事業所名	太田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター	サービスの種類	認知症対応通所介護
電話番号	03(3750) 8701	報告者 職・氏名	生活相談員 佐藤 資実
開催日時	令和8年6月20日(土) 13:30 ~ 14:30		
開催場所	大田区下丸子高齢者在宅サービスセンター		
出席者 9人	(内訳) 利用者 ○○○○様、○○○○様 利用者家族 利用者様の体調が悪く、欠席(出席予定者 ○○○○様) 地域の代表 民生委員児童委員 副会長 ○○○○様 ○○○○様 区・地域包括支援センター 地域包括支援センター ○○○○様 事務局 統括事業所長 ○○○○ 所長 ○○○○ 生活相談員 ○○○○、○○○○		
◆活動報告・活動計画 別紙「活動報告書」のとおり。			
◆活動報告・計画に対する評価 【家族】 ・参加予定だったが、ご利用者の体調不良で急遽出席できなくなる。お伺いしていたことを記す。 「(下丸子在宅に)入浴ができるまで、家族でがんばって入浴介助をしてきました。他の所に行くのではなく、お風呂ができるまで待ってよかったと思います。安心して任せることができ、助かりました。本当にお世話になって来たと思います。」			
◆事業所に対する要望・意見 【利用者】 ・みんなと会うのが一番うれしい。(職員や他利用者) ・センターに来て、ためになった。ちょっとした外出でもうれしい。(近くの公園など) ・ここに来れば自宅にいたらできないこともできる。楽しい。			
◆要望・意見に対する事業所からの回答 【寿】(高齢認知症対応型通所) ＊入浴については、一般入浴ができ、ご家族の負担を少しでもこちらで担えることができ、ありがたいと思います。 ＊センター方式を取り入れ、その方が話をしていることを元に何を望みどんな状況を把握し、その方にとって必要な支援をしています。外出がしたいということも伺っていますし、その声もあるので外出訓練として外に出ることがあります。 ＊言葉にはだせないご本人の希望も、表情やしぐさ等も含めてひとりひとりをみていき、意思をくみ取れるようにしています。 【HOPE】(若年性認知症専門通所) HOPEの活動として、その方が自身で考えていくことができるように心がけています。 社会活動としては、メンバー(ご利用者)が社会と繋がっている意識をもっていただけるような様々なことに参加をすることとしています。他、自分たちの活動が形になり、働きたいという気持ちを活かすために就労的支援もしています。たとえば、紫陽花のしおりや桜のペンダントなど作成し、マルシェで家族会に売ってもらう、おすそ分け会(フードパントリー事業)への参加、提供もしています。			

◆地域・行政等からの情報提供

【〇〇様】(やぐち包括支援センター)

暑い季節の対応策をパンフレット持参され、注意喚起しています。熱中症も流行ってきますので、水分を細かく摂取して気を付けて過ごしてください。詐欺が流行っています。無料の通話録音機の貸し出しを行っていますので騙されないように気を付けてください。

【〇〇様】(民生・児童委員)

～地域の情報共有～

・他でボランティアをしていて、ウォーキングのイベントがありました。イベント終了後に体調不良を訴える方がいました。その時に途中で水分補給の時間を設けたが、飲まない方がいたので、少しでもこまめに水分補給を促すように声掛けが必要だった。水分補給の種類は麦茶、水、スポーツドリンクがおすすめです。

気づかずに脱水が進んでいることがあるので気を付けていきたいと思います。

・最近、詐欺の連絡が増えています。お金の話も詐欺ですので、電話などで勧誘の場合は断ってください。

【〇〇様】(下丸子四丁目町会代表)

・地域の方でも季節感に合わない洋服を着ている事がある。熱中症の注意喚起をしていく。

・7月25日、26日の地域の盆踊りを開催しますので、参加できる方はよろしくお願いいたします。

◆その他・特記事項

※会議録作成にあたって

・報告書は2ページにわたっても構いませんので、文字は縮小しないでください。